

5 月度 例会 山行報告書		報告者	小久保	参加 メンバー	CL:金子 SL:小久保 他、川中1名
個人		報告日	6 / 9		
山 域	恵那山周辺	山行日	2010年5月29日(土)		
山 名	笠置山(1,128m)				

山行目的	やまびこ祭	コースタイム(天候:天気図記号)
------	-------	------------------

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

5 / 29 (土) 晴れ

6:35 N1 駐車場発
7:35 屏風山 PA 着
8:05 屏風山 PA 発
8:45 姫栗コミュニティ消防センター着
8:55 姫栗コミュニティ消防センター発
9:35 9:45 一本
10:05 ヒツパタゴ自生地
10:30 10:45 一本
11:10 11:40 笠置神社奥社
11:45 展望台
11:55 ヒカリゴケ
12:10 笠置神社奥社発
12:50 13:10 一本
13:45 姫栗コミュニティ消防センター着
13:50 姫栗コミュニティ消防センター発
14:10 15:10 かんぼの宿恵那
15:30 あかまんまロッジ着

恵那ICから笠置山周辺へはわりとすぐに着いた。細い坂道を上がり、姫栗コミュニティ消防センターに到着(10台以上止められそうなくらい広い)。モリゾーキョロの帽子をかぶった川中と小久保で長身イケメンの金子さんを囲み、横に広がってアスファルトの道を進む。10分ほどで別荘地の中へ入った。キョロキョロと別荘を見ているうちに未舗装の道になり、そこからはだんだんと足場がゴツゴツして歩きにくくなる。金子さんの、奥様と行った北海道で夫婦愛が深まった(?)という話を聞きながら緩い坂道を上る。まっすぐ伸びた木々の間に巨岩がいくつも配され、不思議な空間を創り出していた。登山開始から1時間ほどで、前面にブロック壁が登場、道を遮られた。その上へ上がると舗装された車道(笠置林道)があり、空いたスペースに設置された小さなテントからはアラーム音が聞こえ、中に人がいることがうかがい知れた。舗装された道を横断し再び登山道に入ると、人工の階段がほぼ途切れることなく続き、歩幅を調節するのに神経を使った。10分ほど坂を歩くとヒツパタゴ(別名:ナンジャモンジャ)の大木が枝を広げて待っていたが、雪のような白い小花はまだ咲いていなかった。その少し上には谷川を渡る小さな橋があり、あんこ(サンショウウオ)が生息していると書いてあった。ひたすら続く階段に息も絶え絶えの筆者。頂上かと思ったら再び車道(姫栗林道)に出た。あと少しだという金子さんの言葉に励まされ、もう少し頑張る。途中、伏流水が導かれ湯のみが置いてある場所では喉を潤わす。やっとなのかあっという間なのか、頂上の笠置神社奥社に到着。今まであまり人に会わなかったが、ここでは中年男女数グループに遭遇。食事を済ませた後、丸太で作られた展望台へよじ登り、目の前の山脈を見渡した。左奥には霞の中に御嶽山がそびえ立っている。さらに天然記念物「ヒカリゴケ」を見るべく岩の隙間を覗き込むと、たしかに黄緑色のコケが光りながらそこに存在していた。帰りは同じルートをはねるように下り、登山者休憩

確認
(リーダー)

金
10/06/09
子

記録小屋と書かれた建物でトイレを済ませ、その後は一気に駐車場へ向かった。かんぼの宿恵那(利用料:700円)では7種類ほどのお風呂が楽しみ、大満足であかまんまロッジへ向かったのがであった。

リーダー所見

作成
(報告者)

小久
10/06/09
保

幸運にも将来のデンソー山岳部を担う若手女子部員と同行できたことに感謝してます。近未来、彼女達が新入部員を育てている姿を思い浮かべながら「あかまんまロッジ」で美酒を味わってました。乾杯。

